

子どもたちは、どんな時に目を輝かせ、夢中になって学び、成長していくのでしょうか。

映画「夢みる小学校」の上映と、武田育夫長野県教育長のお話を通して、一人ひとりが自分らしく学び育つ学校や、地域の役割について一緒に考えてみませんか。

子育て中の方はもちろん、教育に関わる方、地域づくりに関心のある方など、どなたでもご参加いただけます。

子どもたちが「自分らしく生きられる地域」の未来を、皆さんと語り合えることを楽しみにしています。

一般社団法人 未来社会推進機構

1

映画
「夢みる小学校」
上映会
13:30～



夢みる小学校は、「こんな学校が本当にあるの？」という驚きから始まる教育ドキュメンタリーです。子どもの主体性を尊重し、自然体験や仲間との関わりを通して「生きる力」を育む教育の姿を描いた作品です。学校と地域がともに育ち合う、新しい学びの可能性を問いかけます。

日時 ・ 9月19日(土)
開場 ・ 13:00 ~ 17:00
参加費 ・ 一般 2,000円
 学生 1,000円
 高校生以下 無料
会場 ・ 長野市東部文化ホール
 (長野市小島804-5)
駐車場に限りがある為公共交通機関をご利用ください

2

お話し会
武田育夫長野県教育長
15:20～

長野県教育委員会が
目指す学校とは



令和6年より長野県教育委員会教育長として、「子どもの声を大切に、一人ひとりが自分らしく学び育つ教育」の推進に取り組んでいます。「長野県教育委員会が、目指す学校とは」をテーマに、子どもが自ら考え行動する学びや、自然や地域とつながる教育のあり方について、お話しいただきます。

申し込み
お問合せ ・ 0269-67-0520 (出澤)
メール ・ dezawa@mirai-ss.org

電話、メール、QRコード
から申し込み下さい



子ども達がワクワクする居場所って？

主催・一般社団法人未来社会推進機構 / 共催・子どもと風と結の会
後援・長野県教育委員会、合同会社そえる手、一般社団法人てとて、NPO法人ばーむぼいす

まず、子どもたちを幸福にしよう。すべてはそのあとに続く。



ナレーション
吉岡秀隆



エンディングテーマ
THE BLUE HEARTS『夢』

2020年に文部科学省の学習指導要領が「探究学習」に大きく舵を切りました。30年も前から「探究学習」を実践する認可校が「きのくに子どもの村学園」です。子どもの村学園に長期取材したドキュメンタリー映画『夢みる小学校』に、中学生パートを追加撮影した『夢みる小学校・完結編』の登場です！文部科学省選定映画『夢みる小学校』が、さらにアップデートしました。

ナレーションは、吉岡秀隆。エンディングテーマはザ・ブルーハーツの『夢』。監督は『いただきます』『夢みる校長先生』『夢みる給食』のオオタヴィン監督。わくわくするシーンの連続、重心にかかったような初々しい感動。不登校生徒数が34万人に達し、日本の公教育が大きく揺れている。今こそ、あなたの町の学校を変えるヒントを、この映画からみつつけてください♡

監督：オオタヴィン 制作：まほろばスタジオ 2024年/本編95分/監督トーク映像10分

映画出演者コメント

体験学習は、AI時代に適応した「脳のOS」をつくります

茂木 健一郎
(脳科学者)

この映画は、「教育の本質」をみせてくれます。

尾木 直樹
(教育評論家)

人生は「問い」の連続です。

辻 脩一
(文化人類学者)

ここには、民主主義の原点があります。

高橋 源一郎
(作家)

「夢みる小学校」上映会＆お話し

○主催者からのメッセージ

上映会を開催するにあたり、自身の子ども時代を振り返ってみました。数字で評価され、人と同じことをしないと変わっていると言われ、型にはめられて苦しかった思いが蘇ってきました。数年前この映画を観て気づきました。信じてほしい。自由で良かった、今こそ子どもたちに伝えたい、自分のままでいいんだよ！かつて子どもだった大人も同じ。自分のままでいいはず。1人ひとり違うことを認め合い、地域みんなが笑顔になりますように。

○武田育夫長野県教育長のプロフィール

武田育夫氏は、昭和55年に千葉大学理学部を卒業後、長野県教諭として教育現場に携わる。波田中学校教頭、伊那小学校校長、長野県教育委員会教学指導課長、伊那中学校校長などを歴任し、学校現場と教育行政の双方に深く関わってきた。令和2年には公益社団法人信濃教育会会長に就任。令和6年より長野県教育委員会教育長として、「子どもの主体性を育む学び」や地域とつながる教育の推進に取り組んでいる。